白土幸仁議長と飯塚俊彦副議長に聞く

政治家を志したきっかけをお聞かせください。

白土幸仁議長…　小学生の頃から歴史が好きで、大学では考古学を専攻していました。歴史に登場する人物は政治家が多く、政治家になることが夢の一つではありました。

　大学卒業後はホテルで営業の仕事をしていましたが、営業の業務に全力を尽くしながら、若者の政治塾での勉強も始めました。学ぶ中で「若い世代も政治に参画しなければいけない」という意識が芽生え、その気になってしまったのがきっかけだと思います。

白土幸仁議長

飯塚俊彦副議長…

　最初のきっかけは、中学校３年生の時に生徒会長になったことかなと思います。

　社会人になってからは、地元の議員の秘書を務めました。議員になるつもりはなかったのですが、結局その議員の支援者の方に応援されて、市議選に出ることになり、現在に至っています。

大切にしている言葉は何ですか？

白土幸仁議長…　特定の言葉はありませんが、臨機応変に、その時その時の自分の立場を踏まえ、適切な言葉を引用して方針を立てています。今年は「石橋を叩く」ということを意識していきたいです。

飯塚俊彦副議長…

　「座って半畳寝て一畳」という言葉です。私はこの言葉を、自分を過信するでもなく、逆に卑屈になるのでもなく、その時目の前にあることを誠実にこなしてゆくのが大切だという意味で信条にしています。

飯塚俊彦副議長

今後の抱負

白土幸仁議長…　まず何よりも、県議会が、その役割と責務を果たすことができるよう、公平・公正で、円滑な議会運営を行ってまいりたいと思います。さらに、「埼玉県こども・若者基本条例」の中でとても大切にしている「こども・若者からの意見聴取」を議会としてしっかり実行していきたいです。県議会では、昨年度から「大学生等と県議会議員との意見交換会」を開催しています。今年度は対象を高校生に拡大して議員との意見交換会を実施するなど、今後も若い世代を対象とした取り組みに力を入れてまいります。

飯塚俊彦副議長…　若手議員やベテラン議員、所属している会派など、県議会議員もさまざまですが、それぞれの地域の代表として議会に参加している点では同じです。県議会で活発な議論が行われるよう、時には自分が緩衝材のようになることも必要だと感じています。議員一人ひとりが十分に力を発揮でき、活躍できるような議会運営を目指してまいります。

委員会リポート report

　６月26日に常任委員会を開き、補正予算・条例などの議案の審査などを行いました。審査の結果、議案17件を原案の通り可決・承認すべきものと決定しました。
　また、八潮市道路陥没事故調査等特別委員会を27日に、そのほかの特別委員会を30日に開き、付託案件の審査を行いました。

議会運営委員会

　６月５日と定例会中の６日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて会派間の協議を行いました。

逢澤圭一郎 副委員長

横川雅也 委員長

権守幸男 副委員長

常任委員会

委員長報告はこちら

企画財政委員会	「令和7年度埼玉県一般会計補正予算（第1号）」などについて審査
総務県民生活委員会	「職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」などについて審査
環境農林委員会	「令和7年度埼玉県一般会計補正予算（第1号）」について審査 （埼玉県農業支援サービス緊急対策事業費の補正）
福祉保健医療委員会	「埼玉県被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例の一部を改正する条例」などについて審査
産業労働企業委員会	「埼玉県企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例」などについて審査
県土都市整備委員会	「令和7年度埼玉県流域下水道事業会計補正予算（第1号）」などについて審査
文教委員会	「埼玉県立げんきプラザ条例の一部を改正する条例」などについて審査
警察危機管理防災委員会	「警察官に対する給貸与品に関する条例の一部を改正する条例」などについて審査

特別委員会

委員長報告はこちら

自然再生・循環社会対策特別委員会	自然環境の保全・再生について審査
地方創生・行財政改革特別委員会	地方分権改革、魅力ある地域づくりについて審査
公社事業対策特別委員会	県の公社指導について、（株）さいたまアリーナ、（公財）埼玉県公園緑地協会、埼玉県住宅供給公社における改革の取組について審査
少子・高齢福祉社会対策特別委員会	障害者への支援について審査
経済・雇用対策特別委員会	埼玉県経済の動向と経済・雇用対策について審査
危機管理・大規模災害対策特別委員会	災害に強い県土づくりについて審査
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会	教育改革について審査
八潮市道路陥没事故調査等特別委員会	「事故対応及びこれまでの工事の経過」「今後の復旧工事」「振動・騒音、臭気等の環境対策」「地域住民への対応状況」「補償の方向性について」審査

議員提案　令和7年9月1日 施行

「埼玉県被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例の一部を改正する条例」が可決されました

　令和7年4月1日に施行された社会福祉法の一部改正を踏まえ、主に生活保護を受けている方を入居させ、食事などの生活サービスを提供する業務に関し、法律が対象としていない入居定員が2人から4人の施設についても、法律と同様に、必要な届出を行わなかった場合などに罰則が適用されます。

条例の詳細はこちら

八潮市道路陥没事故調査等特別委員会 委員名簿

委員は次のとおりです。定数14人（◎は委員長、○は副委員長）
令和7年7月23日現在

◎宇田川幸夫（自民）	松坂喜浩（県民）	橋詰昌児（公明）
○逢澤圭一郎（自民）	木下博信（自民）	町田皇介（民主フォーラム）
渡辺聡一郎（自民）	藤井健志（自民）	荒木裕介（自民）
細川　威（民主フォーラム）	美田宗亮（自民）	小島信昭（自民）
伊藤はつみ（共産党）	松澤　正（自民）	

この広報紙は、点字版とデイジー版（音声のみ）も発行しています。
ご希望の方は県議会事務局政策調査課広報担当（TEL.048-830-6257）にご連絡ください。

VEGETABLE OIL INK
再生紙を使用しています。